

連名で出しているため重複して配信される場合がございます。あらかじめご了承ください



2016年10月24日

株式会社インテリム

株式会社クリニカル・トライアル

インテリムとクリニカル・トライアルが、がん領域における情報提供と新薬開発促進のために協力関係構築

～がん患者へのがんの最新情報提供と希少がんの臨床試験・治験の被験者募集支援を強化～

株式会社インテリム（本社：大阪府大阪市、代表取締役：浮田 哲州、以下インテリム）と、がん情報サイト「オンコロ (<https://oncology.jp/>)」を運営する株式会社クリニカル・トライアル（本社：東京都豊島区、代表取締役：滝澤 宏隆、以下 クリニカル・トライアル）は、この度、がん患者へのがん情報の提供と希少がん領域における治療薬開発促進のために協力関係を構築しました。今後、がん患者向けの『がん用語辞典の開発』および『希少がんにおける被験者募集の支援』に共同で取り組みます。オンコロジー領域に強みを持つ CRO であるインテリムの豊富ながん知識やコネクションを最大限に活かし、「オンコロ」を通じて世に発信・還元することにより、より良いがん医療に貢献します。

背景：

国立がん研究センターの発表によると 2016 年の予測がん罹患者数は約 101 万人、予測がん死亡者数は約 37 万人となり、年間がん罹患者数は 100 万人を超えるであろうといわれています 1)。一方、がんに罹患することは、生命を脅かすことだけではなく、医療費は家計を圧迫し、就労が困難となるケース、患者のご家族をも精神的に追い詰めることがあります。

近年、インターネットの発達により、誰でも簡単に様々な情報にアクセスできるようになり、がん患者の 8 割がインターネットから情報を得ています 2)。しかしながら、日本では、正しいがん情報を発信している Web サイトが少なく、Google 等で「肺癌」、「肺がん」と検索した場合の上位 50 のうち 7 割は正しくない情報であるという研究結果も報告されています 3)。

一方で、欧州の RARECARE における疫学定義に基づき、年間人口 10 万人あたり 6 人未満の罹患率の発症を希少がんの定義とした場合、日本の全ての希少がんの推定罹患率は、全がん種の中の 15%を占めると推定されています 4)。希少がんは、患者数が少ないことから新薬開発が進まず、十分な情報もない状況です。

このような状況下にて、専門的な情報が十分でない一般の方が正しい情報を見極めるための助けとなるツールや、希少がんに関する情報を提供する情報媒体が求められています。

1) 国立がん研究センター 2016 年 7 月 15 日 2016 年のがん統計予測公開 罹患数予測約 101 万例、死亡数予測約 37 万

http://www.ncc.go.jp/jp/information/press_release_20160715.html

2) ファイザー株式会社「がん患者さん・がん患者さんのご家族における意識・実態調査」
2012 年

<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/press/2012/documents/20121011.pdf>

3) Yasushi Goto et al. Differences in the Quality of Information on the Internet about Lung Cancer between the United States and Japan : Journal of Thoracic oncology, July 2009 Volume 4, Issue 7, Pages 829-833.

<http://dx.doi.org/10.1097/JTO.0b013e3181a76fe1>

4) Gatta G et al. Rare cancers are not so rare; The rare cancer burden in Europe : European Journal of Cancer, November 2011, Volume 47, Issue 17, Pages 2493-2511

<http://dx.doi.org/10.1016/j.ejca.2011.08.008>

インテリムとクリニカル・トライアルによる協力関係について :

インテリムはオンコロジー領域に強みを持つ開発業務受託機関 (CRO) として、幅広いがん治療薬の開発に寄与することが企業目標であり、そのために豊富な知識及び経験を培ってきました。特にグローバル、アジア治験に強みを持ち、インテリム及びインテリムの関連会社にて韓国、台湾、中国、インド、米国、欧州にネットワークを持つ企業です。2011 年から「オンコロジーCRA 認定制度」を開始、2014 年 7 月に「オンコロジースペシャリスト&エキスパート認定制度」に改訂して、現在、52 名のスペシャリスト認定者と、顧問の西條長宏氏 (日本臨床腫瘍学会元理事長) の口頭試問をパスした 8 名のエキスパート認定者が在籍します。

一方、クリニカル・トライアルは 2015 年 5 月にがん情報サイト「オンコロ」を開設し、臨床試験 (治験) 情報等を含むオンコロジーに特化した最新情報を発信して参りました。「オンコロ」には、月間で 10 万程のアクセスと約 60 件の治験情報に関する問い合わせがあり、うち約 3 割は希少がんの治験を希望する方となります。

オンコロジーに特化した様々なスキルを有する両者が協力関係を構築することで、メジャーながん種はもちろんのこと、アンメットメディカルニーズが高い希少がんの最新情報や臨床試験・治験情報を提供し、エビデンスに基づいたがん情報の提供と希少がんの被験者募集を促進し、新薬開発に貢献して参ります。

がんの最新情報及び臨床試験・治験の情報提供について：

がん情報は、情報量が多く且つ流動性が高く、発信する側の専門性を必要とします。このようなことから、専門的ながん知識を有する人材が豊富なインテリムの協力のもと、より多くのがん情報を提示することでより良いがん医療の実現に貢献して参ります。『がん用語辞典の開発』を共同で行うことにより、がん患者・家族の情報収集活動の一助となることを目指します。

【がん情報サイト「オンコロ」について】



オンコロジーをテーマにして、最新の研究結果や臨床試験情報などを配信する情報ポータルサイトです。月間 10 万を超える訪問数があり、幅広いがん種での被験者募集をおこなっております。詳しくは、オンコロをご覧ください。

オンコロ：<https://oncolo.jp>

【株式会社インテリムについて】

インテリムは設立 11 年で国内の独立系 CRO としては最大手にまで成長し、更に、現在はアジアで最も卓越したグローバル CRO を目指して積極的に海外展開を進め、グローバルスタディ（国際共同治験）も受託しています。

また、ニーズの高まるオンコロジー領域においては日本を代表するがん医療の権威として知られる KOL 西條長宏先生を顧問に迎え、西條先生の監修による他社にはないオンコロジー領域の専門研修を企画。自社でオンコロジースペシャリストを育成するなど、独自の成長戦略で伸びてきた会社です。

詳しくは株式会社インテリムのホームページをご覧ください。

株式会社インテリム：<http://www.intellim.co.jp/index.html>

【株式会社クリニカル・トライアルについて】

72 万人の会員を有する治験特化型ヘルスケアサイト「生活向上 Web」を運営。このサイ

トを通じて日本の治験のスピードを向上すべく、被験者募集を支援してきました。さらに、2015年5月からがん情報サイト「オンコロ」を開設。がん分野の医療へ、情報分野から一石を投じるべく、治験情報公開をはじめとした様々な課題にチャレンジしております。グループ会社として、被験者募集特化型のCROである株式会社クロエがあります。詳しくは、株式会社クリニカル・トライアルのホームページをご覧ください。

生活向上 Web : <http://www.seikatsu-kojo.jp/>

株式会社クロエ : <https://www.croee.com/>

株式会社クリニカル・トライアル : <https://www.clinical-trial.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテリム 東京支社

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19 秋葉原ビルディング 4階

TEL 03-3255-6861 / FAX 03-3255-6862

MAIL info@intellim.co.jp

担当オンコロジー事業企画部 南

株式会社クリニカル・トライアル

株式会社クロエ

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-13-23 池袋YSビル2階

TEL : 03-6869-0021 MAIL : pressroom@croee.com

クロエグループ広報担当 : 野村